

千歳中だより

禮 大切にする 素直・正直 気づく



令和7年7月17日
No.4
世田谷区立千歳中学校
校長 和田 祐一郎

SNSの使い方を考える

校長 和田 祐一郎

入学式から3ヶ月が過ぎました。1学期は上級生のリーダーシップやみなさんの協力で落ち着いた学校生活が送れました。また、しっかり学習に取り組める環境が作されました。



先日、スマホ安全教室が行われました。テーマは「ネット依存や、SNSを介したトラブルについて（話し言葉と文章にした言葉の取り違い、悪ふざけの写真投稿など）」でしたね。今回はスマホ等の利用時間について考えてみましょう。

令和6年度「青少年のインターネット利用環境実態調査報告書」より（こども家庭庁）

インターネットの利用内容（スマホ、携帯、PC、学校から配布されたタブレット（抜粋）

| 人数（1,157人）に対し | 動画を見る | 検索する | 投稿やメッセージを交換する |
|---------------|-------|-------|---------------|
| パーセンテージ | 94.2% | 87.6% | 80.8% |

長時間使用での悪影響は学力に悪影響を与えるという研究結果も出ています。中学生は上記のように「スマートホンを何に利用しているか」では「動画を見る」が最も多く、次に「検索をする」、「投稿やメッセージを交換する」です。今回は第3位の「投稿やメッセージを交換する」でスマートホンなどを利用したSNSトラブルについて考えたいと思います。本校でもSNSを利用したトラブルが起きています。「あの人気がこう言った」、「おもしろいから」などその投稿により、誰かを傷つけてしまうことがありました。同級生を大きく傷つけてしまう投稿は絶対に避けるべきです。

今、社会ではオンラインカジノや闇バイトなど犯罪に直接つながるものがあります。また、多くの人の注目を浴びたくて飲食店などでイタズラ（犯罪）の様子を撮影し、投稿すること。悪ふざけで載せてはいけない画像を手に入れ、インターネット上に公開したなどの犯罪や非行が起きています。また自宅の写真を載せた結果、自宅の住所が画像から知られ、不審者につけられた事例もあります。生徒の皆さん、SNSの利用について改めて考えてください。SNSは公共の場と考えるべきで、使用する時はマナーを守り、誰もが傷つかず、傷つけられないよう配慮してください。



皆さんに夏休みに入るこの時期に考えてほしいことがあります。携帯やスマホは保護者が皆さんに貸し与えてくれたものです。使い方には十分家族でルールを話し合い、ルールを守りましょう。保護者の皆様におかれましてはその管理と指導をよろしくお願ひします。

そして、夏休みに入り自転車に乗る機会が増えると思いますが、自転車事故の件数が前年度より増加傾向にあります。自転車と自動車の事故が最も多くなっていて、出会い頭で衝突する事故が多く発生しています。ヘルメットの着用も推奨されています。必ず安全確認や一時停止をし、交通ルールを守り、安全に自転車に乗りましょう。



一学期、保護者の皆様にはPTA活動を通してご支援いただきまして感謝いたします。夏休み中は生活リズムが崩れやすいので、お子さまの健康と安全の見守りをお願いいたします。9月1日（月）に生徒全員の元気な姿が見られることを期待しています。

■□■夏季休業中の学校への連絡について■□■

○学校休業中 8月13日（水曜）～15日（金曜）の緊急連絡について

学校休業期間中に緊急に電話連絡が必要な場合は、下記連絡先までご連絡をお願いいたします。

【緊急時の連絡先】

世田谷区教育委員会 教育総務課調整係

世田谷区役所 区役所東棟6階 03-5432-2652(直通)

私が学んだインターネットの安心・安全な使い方

1年 A組

私が今回の講義でお話を聞かせてもらった内容は、インターネットは、情報をいち早く知ることができたり、音楽を聞くことができたり、様々な良いことがあります。その一方で、ネット依存、ネットいじめ、など、インターネットには様々な危険があるということでした。スマートフォンなどの身近にある電子機器から簡単につながることができてしまうため、そういった危険について、対策・適切な対処をしなければ、金銭トラブル、犯罪などに巻き込まれ、将来の生活に影響する恐ろしいものという内容でした。それに、周りだけではなく、自分もインターネット上で投稿するものに気をつけなければ、個人情報が漏洩してしまうなど、インターネット上でトラブルになることを学びました。

修学旅行に向けて

修学旅行実行委員 3年 E組

私たち3年生の修学旅行のテーマは「結束」です。私たち3学年は、これまでの学校生活や行事で、クラス・学年の仲間と協力し、助け合ってきました。困ったときは声を掛け合い、笑顔を忘れずに過ごすことで、より素敵な思い出が作れます。3学年全員が結束し、最高の修学旅行にしていきましょう。

私たちの学年は校外学習では「温かい集団」をスローガンにし、それを達成し、成長できました。しかし、私たち生徒の中でルールの理解度に差があり、確認不足などの新たな課題も見えました。今回の修学旅行は、3年生にとって集大成でもあります。3年生のみなさん、今まで見つけてきた課題に向けて取り組み、行事で得た経験を活かし、結束しませんか？みんなで協力し、素晴らしい思い出をつくりましょう。



赤ちゃんとのふれあい体験で学んだこと

3年 F組

私は今回の体験で、親のすごさを学びました。私が体験したのは、赤ちゃんにとつて2時間目のふれあい体験だったので、疲れて泣き止まない子もいました。このように、赤ちゃんは感情表現が極端なので、どうしたら泣き止むかを考え、試し続ける親の役目は、とても根気のいるものだと思いました。

今回、抱っこやり方や、赤ちゃんを育てる親御さんの話を聞くことができたので、今後、機会があれば活かしたいですし、外で赤ちゃんを見かけたら、手助けしてあげたいと思いました。

そして、改めて自分の親への感謝の気持ちをもてる良い機会になりました。



56期生徒会スローガン「こえろ」

生徒支援部主任 小瀬村 雄一

生徒支援部は生徒会のスローガン「こえろ」をフォローしています。「こえろ」には、クラスや学年の枠をこえて団結することで目の前に立ちはだかる壁や困難をこえていこう、という想いが込められています。

さて、今、自分の所属するコミュニティ（小集団）の枠をこえて新たな仲間とつながるためにには、自分との共通点を見つけるだけでなく、自分との違いを認めたり、違いを相手の良さと捉えたりする必要があります。つまり、多様性の理解、受容が求められるのです。多様性を受容することは、最近では「ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）」という言葉で国内外の多くの企業やコミュニティで重視されるようになり、現代社会を生きていく上で求められる力（スキル）のひとつとなっています。また、自分と違う世界観を理解し、多様な価値観を養うことは、きっと皆さんの生活をより豊かにしてくれることでしょう。自分とは違うから、と拒絶せず、相手のことを理解し、想像し、寄り添い、互いに支え合える「温かい関係」を築いていくこと、その連鎖が「温かい集団」をつくっていく信じています。引き続き、皆さんのが「こえる」アクションとチャレンジを応援します。



| | | |
|-----------------|-------|--------------------------------|
| スクールカウンセラー出勤予定日 | 杉本 尚子 | 9/1(月) 9/8(月) 9/22(月) 9/29(月) |
| ※千歳中相談室直通電話 | 麻生奈央子 | 9/4(木) 9/11(木) 9/18(木) 9/25(木) |
| (3300) 7321 | 桂 玲 | 9/5(金) 9/12(金) 9/19(金) 9/26(金) |